



VOL.86

医療法人 大潤会 令和8年冬
枚方市地域包括支援センター大潤会
枚方市長尾谷町3-6-20
072-857-0330
発効日 令和8年1月1日
発行責任者 管理者



新年あけましておめでとうございます。今年の干支は丙午（ひのえうま）で、「丙」は「火」を表し、情熱や強い意志を象徴しており、「午」もまた「火」に属し、行動力やスピード、エネルギーを意味しているらしいです。丙午のように今年は皆さまにとって、駆け抜ける馬のように、情熱と行動力で道を切り開く、活気ある年になりますようお祈り申し上げます。



地域包括ケアシステムの進捗状況（第1層協議体）

「地域包括ケアシステム」とは平成17年の介護保険法改正において提唱され、高齢者が最後まで住み慣れた地域で自分らしく生活を続けられるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供されるネットワーク体制です。急速な少子高齢化の進む、令和7年をめどに体制整備を目指して保険者である市町村や都道府県が地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じた支援体制の構築を目指しています。（右図はシステムのイメージイラストです。）



枚方市でも地域を主体とした第2層協議体「元気づくり・地域づくりプロジェクト」において各校区の特性と主体性に基づき、地域課題の抽出と解決、独自の取り組みなどを協議し、実現を目指し、第1層協議体では第2層協議体から抽出された課題で市全体に共通する課題の実現や各制度の大枠整備、地域への取り組み支援体制の整備に取り組んでいます。

今年度、2回目の第1層協議体が12月15日に開催され、各圏域で定期的な体力測定、オンライン教室の体験など、地域の自主グループの活動支援を行う介護予防拠点である「街かど健康ステーション」が未設置の第1、11圏域への設置を目指した選定状況や「元気づくり・地域づくりプロジェクト交流会」（12月1日開催）の報告が行われ、第1層協議体を構成する地域の代表、医療・介護の専門職と枚方市で進捗状況の確認とシステム構築に関する意見交換が行われました。枚方市でも包括ケアシステムの深化、推進が一歩ずつ前進しており、引き続き、地域の皆様、市内の事業者様からのご理解、ご支援をよろしくお願ひいたします。

ネット見て 「安い！」 クリック 大丈夫？



ネットで安くお米を注文したのに商品が届かない…お米が品切れのためコード決済で返金すると言いながら逆に送金せられる「振りコメ詐欺」が市内で発生しています。

また、トイレの詰まりや害虫駆除、鍵開けなどネットで安く表示されているのに、呼んで作業してもらうと高額請求された「生活レスキューサービス」の契約トラブルも多発しています。トラブルに会ったらまず相談を！

消費生活センターや地域包括支援センターにまず電話でご相談ください。

相談を されると困る 詐欺師たち
怪しいと 思った初心 信じよう

介護保険 訪問介護（ホームヘルパー）の利用について

地域包括支援センターではヘルパー利用希望の相談をよくお受けしますが、利用にはルールがあります。介護保険は認定を持っている方に対しての支援です。トイレや風呂、台所などは家族との共有スペースなので、介護認定を持っていないご家族がいる場合は掃除の支援ができません。又、買い物や洗濯、調理なども利用者のみの支援です。



高齢のご夫婦世帯でも同様です。ご夫婦ともに介護認定を持ち、**お二人のケアプラン作成が必要です。**

（介護保険のホームヘルパーは家政婦や家事代行サービスではありません。適切なケアを行うにはケアマネジャーが状況を確認し、支援内容をケアプランに記載され、その内容の支援が提供されます。）

看護学生実習のご協力を、いつもありがとうございます

地域包括支援センター大潤会では、毎年看護学生の受入れをしています。学生は地域看護学（地域包括支援センター）の単位取得のために、看護大学3年生が実習に来ています。4日間の実習ですが、個別の家庭訪問や、病院やスーパーが高齢者にとって行きやすい場所にあるか等、歩いて見て調べる地区踏査、地域の方へのインタビューを含め、学生視点で地域の課題を抽出し解決策を考察します。

実習を通して「1 地域に住む方々の生の声を通して、地域の現状や課題を実感できた。2 互助活動を行いたいという思いがある一方で、深く介入する難しさがあることを学んだ。3 高齢者だからこそできること活かせる環境づくりが、主体的な取り組みを促す第一歩であると学んだ。4 健康課題への取り組みはその人自身の想いや積極性が鍵、本人と密に話し合いながら望ましい支援を提供することが重要であると学んだ。5 地域包括支援センターなどの他職種が住民と協働して支援の方向性を検討する姿から、住民主体の地域包括ケアの実践を学んだ。」と学びの発表をしてくれました。



これからも学生の同行訪問やインタビューをお願いすることがあると思いますが、引き続きご協力をお願いできたら幸いです。学生が「地域包括支援センター職員になりたい！」と感じるような地域づくりを、包括職員としましても、今後更に奮闘していくかと思っています。

オレンジカフェ

めえちゃん



11月6日のめえちゃんカフェでは、高齢者住まいの相談センターの相松様より数多くある老人ホームの種類や施設内容、メリット、デメリット、入居時や月額費用などのお話をいただきました。講座の後は、SPRINGひらかた珈琲俱楽部の皆様に珈琲を淹れていただく間、地域包括支援センターから「認知症とともに生きる希望宣言」についてお話をしました。今回は、お出かけしやすい気候で、テーマもご興味頂けたのか、ボランティアさん含め27名ご参加ただけました。



次回は2月5日（木）14時～15時開催予定です。

参加ご希望の方は、1月13日～28日（土日祭日は除く）

午前9時～午後5時30分に

地域包括支援センター大潤会（TEL 072-857-0330）までご連絡ください。